

平成19年(2007年)4月1日発行



学校法人 日本工業大学創立100周年

本格的な春の訪れとともに、100周年記念事業はいよいよ最終段階に入っており、事業に携わる関係者一同、一層気を引き締めているところです。左は無限を表す「メビウスの環」をモチーフとした100周年記念シンボルマークです。



特定課題研究(修士論文に該当)の発表風景

本大学院では、本年3月24日に無事第2期生の学位記授与式が執り行われた。本大学院は正式には「大学院技術経営研究科へ専門職学位課程」技術経営専攻と称される。この「技術経営」なる用語は発祥の地である米国の「Management of Technology (MOT)」の日本語訳である。MOTの中心を砕いて表現すると、①技術者が経営の手法を学ぶ、②技術系でないマネージャーが経営上に必要な技術を理解する、③企業の競争力を高めるための研究開発戦略の利用法を学ぶ、④新規の技術によって新たなビジネスを創出する(ベンチャー)の手法を学ぶ(ベンチャー)の中心となる。

密度の濃い1年で悔いのない学習を!

専門職大学院だより 「新入生を迎える言葉」

大学院技術経営研究科 研究科長 村川 正夫

現時点では、このようなMOTを学ぶ専門職大学院は全国規模でもまだ10校に過ぎないが、これから多数のMOTが設立される可能性がある。何故ならば、現在日本経済再生に求められているのは、企業が有する技術を実際に商品として市場に売り出すための「技術経営力」を駆使し、こ

れらのユニークな技術の開発を促進させることにあるからである。MOT大学院の中にある差別的な理由のために、本大学院は、特に中堅・中小企業における人材の育成・再教育にターゲットを絞って技術経営を学習してもらう事を建学の理念としている。そのための配慮は種々あるが、中でも1年間集中して、効率的に勉強すること、技術経営修士(専門職)の学位が得られるようにしていることが特筆される。これから1年間悔いの無い学習を行い、その後の実務に役立つような成果を掴み取っていただきたい。

十分な志を持って入学してきた皆様ではあると思うが、実際に多忙な仕事を抱えながら1年間通学することは「言うは易し、行うは難し」かもしれない。これに対しては複数の卒業生から聞いた「1年間での密度の濃い学習スケジュールは、緊張感を保持するのにかえって都合良かった」という言葉を贈りたい。どうかこれから1年間悔いの無い学習を行い、その後の実務に役立つような成果を掴み取っていただきたい。

原点に触れよう、最先端に立とう、

日本工業大学のキャンパスで



学長 柳澤 章

新入生を迎える言葉

新入生諸君、日本工業大学へ入学おめでとう。「大学に入ったから、何か新しいことをやってみよう」と考えている諸君、あるいは、「高校時代から考えていたことを大学で突き詰めたい」という思いを秘めている諸君もいることでしょう。あるいは、その両方を持っている新入生も多いかも知れません。「やってみよう」ということを持っていることは、それ自体が人

に挑戦するなど、様々な領域の工学技術を深める場が設けられ、諸君は着実にエンジニアとしての成長を遂げていくでしょう。1年生のうちから「本物」を相手にして学び、腕を磨くことができるのが日本工業大学の特徴です。例えば、金型づくりは、チームで企画を競い、CADから現物へと進めます。アイデア、技術、段取り、チームワークなど、社会が求める総合力を養っていきます。

ことを具体的に形に表す手段のひとつが、諸君がこれから極めようとしている工学技術です。日本工業大学のキャンパスには、ふんだんに「やってみよう」が揃っています。今年入学した諸君が、1年後、3年後、こんなことができるようになっていく、ということをお願いすることは、「工房」を覗いてみることで、二足歩行ロボット研究に取り組み、工業製品の金型をつくる、カナダに行きつて家を建てる、そして、最先端の電子情報技術

ミニ旋盤の製作は、こつこつと地道な作業を積み重ね、高い精度で仕上げます。こうした技術と、これを達成する仕事への取り組み姿勢は今日では非常に価値が高く、生産現場が強く求める能力といえます。またカナダで建築に挑戦することは、腕と五感で英語を体にしみこませる体験ができる素晴らしいチャンスだといえるでしょう。最先端を垣間見るならば、そのひとつ、ナノレベルの超微細加工技術の研究を進めている先端材料技術研

究センターがあります。マイクロマシンを開発して医療の分野で人の命を救うなどの活躍が期待されている炭素材料を研究しているのです。ナノテクノロジーはアメリカをはじめ世界の国々がトップの座を奪い合っています。

近未来の第一線の生産技術を知りたいならば、ファインプランニングセンターがあります。日本は金型技術では世界のトップランナーです。従来、人の手が覚えていた最高レベルの技術をプログラムにして、生産の飛躍的な革新を実現します。それが今、日本工業大学のキャンパスで進行中なのです。

工業技術博物館を訪れ、技術の原点にもぜひ触れていただきたい。燃料を燃やし、それが動力となり、ピストン運動が回転運動になり、交通の手段となる。メカニズムの原点であるSLを現物で目の当たりにすることが出来ます。キャンパスでSLが定期的に運行します。手づくりのミニサイズのSLもあります。さらには、金属加工の原点が動態保存されています。近代工業を築いた先輩エンジニアたちの格闘の跡に触れながら、21世紀の技術を模索していただきたい。

はじまりはささやかな思いつき、あるいは個人的な趣味かも知れない。それがやがて世の中に歓迎される技術や製品やサービスとなる。その第一線で活躍するエンジニアへと、工学の豊かな環境の日本工業大学で成長していくことを願っています。

各学科カリキュラムに3コースを設定

副学長 教務部長 渡辺 勝彦

本学は入学してから1年半の学修にカリキュラムコースを昨年設定いたしました。専門を初めて学ぶ諸君には集中カリキュラムコース、工業高校で専門を学んできた諸君には発展カリキュラムコースを取り組んでいただくことを推奨いたします。普通高校からの推薦入学も始まりました。入学時に新たに専門を選択する学生も増えてまいります。したがって、学科の内容をわかりやすく表示する必要が、従来にも増して求められています。本学は工業の課程を学んできた学生も多く迎えてきました。しかし、近年高校の工業科では従来より専門的な学習が減っており、いっばうで大学の諸学科で扱う範囲は当然のことながら変わってきています。一口に機械工学科と言っても扱う領域は広いので、その内容を分けて示している場合が既にあります。しかし今回は、新たに検討を進めてまいりました。その結果、平成19年2月に5学科それぞれが3コースを設定することに決定しました。遅くとも平成20年度入学生にはご案内いたします。学科がどういった内容を扱うかは、学術の進展に見合っただけに見直されているものと思えます。社会のニーズが強く影響することも確かです。科学技術を学ぶ個人が、学習するテーマを常に考え、時に対象を替えることは当然ですが、学科

各学科に設置にされたコース

学科名	コース名
機械工学科	プロダクトデザインコース 実践機械工学プログラム メカニクスコース
電気電子工学科	エネルギー制御コース 情報通信ネットワークコース 先端電子デバイスコース
建築学科	建築・都市デザインコース 住空間デザインコース 構造・環境エンジニアリングコース
システム工学科	デジタルメディアコース ナノテクノロジーコース 社会環境デザインコース
情報工学科	コンピュータネットワークコース ソフトウェアデザインコース ヒューマンメディアコース

2007オープンキャンパス 日程決まる!

つくる楽しさ、学ぶ喜び、まるごと体験

オープンキャンパス 7/15(日)・8/18(土)・8/25(土)・9/16(日)

時間: 各日とも11時開始

ミニオープンキャンパス 6/2(土)・10/6(土)

各日とも 午前の部 10時開始(昼食付) 午後の部 14時開始

紙上オリエンテーション 日本工業大学での学び方 自発的、積極的な大学生活を！

各学科棟 1Fに「聞きたいこと何でも窓口」を開設！(4/3・4/5)



新入生の皆さんは、大学生活という新しい体験に向かって、期待や不安を抱いていらっしゃるのではないでしょうか。そこで本紙では、各学科主任や共通系主任の教授の方々の意見やアドバイスを伺い、それを参考にしながら、皆さんがスムーズに快適な大学生活を送るための心構えや行動のしかたについてまとめてみました。

オリエンテーションをよく聞くと
まず入学当初は、いろいろなオリエンテーションが行われます。オリエンテーションとは、皆さんが、新しい大学生活という環境に適応できるように方向づけを行うということです。(図参照)

その内容はさまざまですが、すべての皆さんに必要な情報だと考えてください。例えば、3月31日は教務課から資料配布があり、4月3日には各専門学科、共通系からの説明があります。さらに、4月5日には、学生自治会について、皆さんの先輩からお話や活動についての内容が盛り込まれています。

「何でも窓口」は「聞きたいこと何でも窓口」へ
何か聞きたいけれど、友達がいなかったり、先生にも相談しにくいというところでしたら、学科ごとに設けられている「聞きたいこと何でも窓口」に行ってください。オリエンテーションが終わると各学科棟の1階に窓口が設けられます。日工大オリジナルのブルーのウィンドブレーカーを着ている人を目印に探してください。君達の先輩が親切に何でも教えてくれるから、気軽に話しかけてみましょう。この「窓口」は、4月3日と5日のオリエンテーション終了後に開いています。

「学修支援センター」も活用
この相談受付窓口は、月曜から金曜の午前11時から午後6時までの時間帯に専門の先生(チューター)が相談ののりつてくれます。ここでは大学生活を送る上で困ったこと何でも相談できる「お助け窓口」ですので、ぜひ活用してください。

フレッシュマンゼミで充分な理解を
オリエンテーションが終わるといよいよ授業が始まりますが、よく知っておいていただきたいのは「フレッシュマンゼミ」です。このゼミは、各学科の中で20人前後の少人数のクラスに分けて、各クラスに担当の教員が配置される一種の担任制度です。それぞれ単位

「何でも窓口」は混み合っていることがあります。気長に並んで待つ時間の長い人や、特別に学科で相談するほどのことでもなさそうだった場合は、学修支援センターに行ってみてください。

この相談受付窓口は、月曜から金曜の午前11時から午後6時までの時間帯に専門の先生(チューター)が相談ののりつてくれます。ここでは大学生活を送る上で困ったこと何でも相談できる「お助け窓口」ですので、ぜひ活用してください。

フレッシュマンゼミで充分な理解を
オリエンテーションが終わるといよいよ授業が始まりますが、よく知っておいていただきたいのは「フレッシュマンゼミ」です。このゼミは、各学科の中で20人前後の少人数のクラスに分けて、各クラスに担当の教員が配置される一種の担任制度です。それぞれ単位

履修申告のやり方
大学では自分で勉強したい科目を選び、履修申告して受講します。科目名だけではどんな内容が分からないので、10日間程は、「試行期間」として、履修申告せずに受講できます。とにかく分からないことは、フレッシュマンゼミの担任の先生に相談してみてください。皆さん一人ひとりの興味や進路希望などに合わせて親切に相談ののりつてくれます。積極的に活用してください。

大学生活は人間関係づくりの場
さて大学生活という新しい環境を楽しく過ごすには、人間関係づくりがとても大切です。新しい友達をつくり、先輩とも親しくなるには、クラブ活動や学生自治会等に積極的に参加したり、興味のある研究室を訪ねてみるのも良い方法だと思います。

研究室へも積極的に訪問
研究室に正式に入るのは、3年生か4年生になってからですが、興味があれば新入生でもどんどん訪問して先輩と接したり、研究にも参加しましょう。皆さんの先輩には1年生から研究にとりくみ、立派な成果をあげた人も沢山います。

高校生時代にオープンキャンパスで研究室を訪れた新入生は、その時、興味をもった研究室に行くのが良いかもしれません。友人先輩と相談するのもよいのですが、結局は自分の判断で、自発的に動くのが最良でしょう。

日	実施内容	備考
3/31 土	学生証の交付・健康診断 オリエンテーション	教務課からオリエンテーション資料配布。 学生支援部が女子学生オリエンテーションを実施
4/1 日	入学式	
4/2 月	編入生、外国人留学生のオリエンテーション	
4/3 火	オリエンテーション	各専門学科、共通系、ネットワーク・ガイダンス、学生支援部、保健体育センター 等
4/4 水	サーベイディ終了後、奨学金予約採用者説明会(学生支援課)	英・数・国の学力テスト
4/5 木	学生自治会オリエンテーション	オリエンテーション終了後「聞きたいこと何でも窓口」開設
4/6 金	授業開始	この間、授業を受け始める。必修科目は、必ず受講するが、選択科目は、履修申告する前に、試みに受講し、履修申告する科目を決める
4/7 土		フレッシュマンゼミは、各学科ごとに12人~13人の少人数のクラスで、担任がつく、一種の担任制度で単位が取得できる
4/8 日		
4/9 月		
4/10 火		
4/11 水		
4/12 木		
4/13 金		
4/14 土		
4/15 日	履修申告	この期間中に、必修科目、選択科目の履修申告を行う
4/16 月		
4/17 火		
4/18 水		
4/19 木		
4/20 金		

学修支援センター
センター長
有賀 幸則

センターでは、数学・英語・物理・専門科目の先生に相談できます。また、大学生活を送るうえで必要な事、困った事、全ての相談窓口です。学科・学年を越えて、多くの学生が訪れるので、新しい出会いのきっかけもできます。お昼休みも開いているので、気軽に寄ってください。

学生支援課
主任
入山 明美

ご入学おめでとうございます。学生支援課は、ロッカーや捨得物の扱い・学生証の再交付・学割証の発行等の他に、奨学金をはじめあらゆる学生生活に関することを扱っています。困ったことや分からないことがあったら、学生支援課員に気軽に声を掛けてください。

教務課
教務課長
栗本 収

教務課では、学生諸君が授業を受ける際の履修登録や成績に関すること、諸君の在籍に関するサポートを行います。これらの手続きは大変重要なものです。特に注意を払うよう普段から心がけてください。各種証明書の発行等も行っています。積極的に教務課を活用してください。

窓口紹介

このコーナーでは、皆さんが常日頃接する機会のある窓口と担当者を紹介します。はじめはちょっとドキドキするかもしれませんが、皆、親切に対応してくれます。どうぞ気軽にご利用ください。皆さんが早く大学に慣れ、充実したキャンパスライフをエンジョイできるよう願っています。

サービスセンター
管理部部長
佐藤 誠

サービスセンターは学生の皆様にできるだけ廉価でかつ質の高いサービスの提供を目的としています。業務は広く、学生食堂、文具書籍販売、コンビニ、アパート斡旋、保険代理店、学内清掃、警備等の各部門があります。是非ご利用ください。

図書館
事務課長
松本 勇一郎

ご入学おめでとうございます。図書館は自ら学ぶ「場」と「情報」を提供する所。毎日図書館へ来て下さい。10月からはライブラリー&コミュニケーションセンター(仮称)として生まれ変わります。更に機能充実、楽しさ満載。ご期待下さい。図書館は知の大海を照らす燈台の灯。

スチューデントラボ
所長
宮澤 肇

スチューデントラボは、学科・学年に関係なく、誰でもいつでも自由に利用できる、ものづくりの場である。機械・電気・木工機械や簡単な道具と、親切な指導スタッフが諸君を待っている。遊び心も大歓迎。ものづくりをやりたい君には「ものづくり入門工房」をお薦めする。

健康管理センター
センター長
酒井 誠

健康管理センターでは、年1回定期健康診断を実施し、健康管理の充実を図っています。学内で急病やケガをした時、応急処置ができ、休養設備もあります。毎週金曜日には医師による健康相談も行っております。体育館にはトレーニング室もありますので、多いにご利用下さい。

学生相談室
相談員
浅野 ミエ子

入学した当初は誰でも期待と入り混じった不安感を抱きます。また在学中は勉学の事、人間関係の事、性格や能力の事等いろいろな悩みが生じます。一人で考えこまないで、学生相談室を利用して下さい。要望があれば、性格検査も行っています。プライバシーは守ります。

就職支援課
課長
吉見 健二

自分の人生を充実したものにするかどうかは皆さん一人一人の大学生活によって大きく左右されます。自信を持って大きく社会へ第一歩を踏み出すために、就職支援課は1年生から就職支援を行っています。進路について相談したい時は就職支援課員に気軽に声を掛けて下さい。

用度・管財課
課長
倉島 清隆

ご入学おめでとうございます。用度・管財課は(1)教育・研究のために必要な物品等の調達と(2)建物・装置等の固定資産の帳簿管理を主たる業務としています。物品等の調達の際には、授業料等の貴重な原資が、有益に使われるように、適正な価格で調達する事を心掛けています。

経理課
主任
磯 雄二

経理課は固いイメージがありますが、窓口は全員女性で明るく、親身でやさしい対応に心がけています。現金の出納事務、学費の延納手続などを窓口で取り扱っています。いつでも気軽に来て下さい。窓口は土曜日も含め午前9:00から午後4:00までオープンしています。

総務課
課長
林 祐司

新入生諸君、ご入学おめでとうございます。みなさんの大学生活が充実したものであらんことをご祈念申し上げます。さて、みなさんと関係ある総務課業務を紹介いたします。①学友会館に関すること。②後援会に関すること。③施設の使用時間外の使用に関することです。

英語教育センター
センター長
岡田 修身

新入生諸君、入学おめでとう。本学で学び、さらに世界に飛躍する諸君の英語を、センターでサポートします。専任の英語教育スタッフが待機しているので、授業について、もっと勉強したい、外部試験の受験の相談、外国留学情報、などなど、いつでも相談に来室を歓迎します。

平成19年度 入学者一覧

工学部：機械工学科、電気電子工学科、建築学科、システム工学科、情報工学科、大学院工学研究科、大学院技術経営研究科(専門職大学院)

機
械
工
学
科

電
気
電
子
工
学
科

建
築
学
科



システム工学科

情報工学科

日本工業大学学業奨励奨学金 受給者(新2年生・3年生)

平成19年度の日本工業大学学業奨励奨学金が決定した。この奨学金は、平成17年度入学生から適用されているもので、年間を通じて学業成績・人物ともに優秀な学生に給付される。2年目となる本年度は、新2年・3年生、計100名が採用された。

本奨学生は、エクセレントスチューデント(ES)3名とリマールカプルスチューデント(RS)7名に区分され、学科および学年ごとに選考される。ESには70万円、RSには20万円の奨学金が給付され、学費に充当される。

採用者は、次の通りである。

【エクセレントスチューデント】
2年生
【機械工学科】
【電気電子工学科】

3年生
【機械工学科】
【電気電子工学科】
【建築学科】
【システム工学科】

【リマールカプルスチューデント】
2年生
【機械工学科】
3年生
【機械工学科】

【建築学科】
【情報工学科】

【情報工学科】

大学院工学研究科

◆博士前期課程
【機械工学専攻】
【電気工学専攻】
【建築学専攻】
【システム工学専攻】

【情報工学専攻】

◆博士後期課程

【電気工学専攻】
【システム工学専攻】

『仲間や思い出を作って、学生生活を楽しく!』



学生自治会中央執行委員長 新入生歓迎の辞

冬の寒さも和らぎ、暖かい季節を迎えましたがいかがお過ごしでしょうか。そして、新入生の皆さんご入学おめでとうございます。日本工業大学の一員として、皆さんを迎えることができ、先輩として大変嬉しく思っています。

冬のお過ごしは、暖かい季節を迎えましたがいかがお過ごしでしょうか。そして、新入生の皆さんご入学おめでとうございます。日本工業大学の一員として、皆さんを迎えることができ、先輩として大変嬉しく思っています。

色々と生活の変化があったり、新しい友達が出来たり、新しい思い出を作れる年になります。ですから、勉強はもとより、自治会や部活動、音楽団体、自主サークルなどに参加して多く

ます。ですが、これだけは間違えないでください。大学のイメージという、自由で楽しいところ』と考えている人が多いと思います。その考えは大きな間違いです。自由とは、自分で責任を持ち行動をし、自分で授業の計画を考え、目標だけではなく、もっと先を見据えて行動することです。

の仲間や思い出を作りたいと思っています。私も中央執行委員会に入ってから、色々と仲間や思い出を作ることができています。自分で

建築学科4年 河又裕介
(栃木県立宇都宮工業高等学校出身)



修理中の蒸気機関車

SL修理完了、運行復活

本学工業技術博物館保存のSL(通称B6、1891年英国製)は、平成5年から右炭をたく有火運転を実施し人気を博してきたが、心臓部であるボイラーの煙管(172本)等の腐食が進んだため、1月中旬から約1ヵ月かけて全煙管を新品に交換する等の修理を行った。

このSLは明治時代に輸入され、国鉄等で活躍した唯一動態保存されている極めて貴重な産業遺産であり、これまでテレビや新聞雑誌にたびたび登場してきた。

今回の修理の結果、116歳のこの長老SLが再び元気にキャンパス内の軌道を走り出したことは大変喜ばしいことであり、近々テレビ放映も予定されている。(工業技術博物館長 松野 建一記)

あと90日で学園創立100周年記念式典

重みを増す ものづくりの伝統

明治40年に、本学の前身である東京工科大学が東京・小石川に開設した。そこから連綿と続く本学園の歩みは、いよいよ今年、学園創立100周年を迎える。創立記念日である6月29日まで後90日。本紙では、本学の歩みを振り返るとともに、100周年記念事業の一端を紹介する。

会人までを対象とした工業教育体系が完成した。日本工業大学専門職大学院は、特に中堅・中小企業に特化し、時代が求める技術経営力を持った高度職業人の育成を目指している。多忙な社会人向けに平日夜間、土曜日全日の開講で、1年間で修了できることが特徴。修了者には技術経営修士(専門職)の学位が授与される。実務経験豊富な教員との相補型授業も好評で、意欲的な院生が熱心に学んでいる。

新しい知の拠点 図書館・情報複合施設「百年記念館」の建設 大学の募金対象事業である図書館・情報複合施設「百年記念館」は、現在の図書館に替わるもの。最新機能を持つ本学の新しい知の拠点である。

学校法人日本工業大学 創立100周年記念行事日程

日本工業大学		付属中学・高等学校	
5月			
6月	●6/29(金) 学園創立100周年記念式典(帝国ホテル) ●6/23(土) シンボルマーク等コンテスト表彰式(学内)	●6/29(金) 同左	
7月		●7/22(日) 合唱団による講演(高校ホール)	
8月		●8/13(月)・19(日) 会場の予約状況により変更あり 100周年記念カップ(駒場体育館および本校アリーナ) 中学校のバスケット試合 男子6校、女子6校 参加予定	
9月	●9/1(土) マイクロロボットコンテスト(学内)	●9/6(木) 狂言の公演(高校ホール) ●9/8(土)・9(日) 100周年ミニ鉄道フイステバル(大学) ●9/15(土) 暴れ太鼓と落語の会(高校ホール)	
10月	●10/13(土) 100周年記念館こけら落とし「講演会」 —山岸 駿介氏—		
11月			
12月			

歴史編は全5章で構成され、各章の前段で当時の社会的背景を、後段で学園について述べ、本学園の歩みを集大成した。未来編は、デジタルを主体とし、本学園のPR資料として、単独でも使用される。配布は、100周年記念式典当日を予定している。

工科大学の実習場で組み立てられた。残念ながら飛行は実現しなかったが、本学は100周年記念事業の1つとして、同機の復元を行った。3月末には完成の予定で、工業技術博物館内で組み立て作業を行い、完成後は同館内に展示される。

募金のお願い

本学百周年記念事業として「百年記念館」(図書館・情報複合施設)を建設します。是非とも皆様の絶大なご支援を仰ぎたく、募金にご協力賜りますようお願い申し上げます。

- 募金目標額 9億円
- 募金の期間 平成20年3月31日まで
- 募金をお願いする方
 - 個人の場合(特定公益増進法人寄付金)…担当: 法人事務局(在校生父母、卒業生、一般篤志家、教職員等) 1口 1万円(できれば2口以上) お問い合わせは、法人事務局まで TEL:03-3467-2132
 - 法人の場合(受配者指定寄付金)…担当: 大学財務部(取引先企業、在校生父母・卒業生の自営企業、その他の企業等) 1口 10万円(なるべく多くの口数をお願いいたします) お問い合わせは、本学財務部経理課まで TEL:0480-33-7504
- ならびにともに寄付金の減免税措置が受けられます。

本学園の歩み



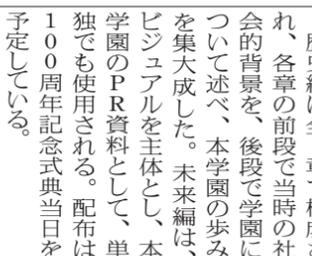
イメージ図の工業高校から見る「百年記念館」や産業界の要望にこたえ、日本工業大学を設立。現在では、中学から大学院まで一貫した工業教育を実現している。



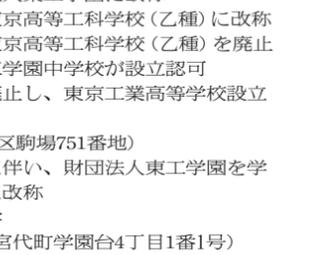
イメージ図の工業高校から見る「百年記念館」や産業界の要望にこたえ、日本工業大学を設立。現在では、中学から大学院まで一貫した工業教育を実現している。



イメージ図の工業高校から見る「百年記念館」や産業界の要望にこたえ、日本工業大学を設立。現在では、中学から大学院まで一貫した工業教育を実現している。



イメージ図の工業高校から見る「百年記念館」や産業界の要望にこたえ、日本工業大学を設立。現在では、中学から大学院まで一貫した工業教育を実現している。



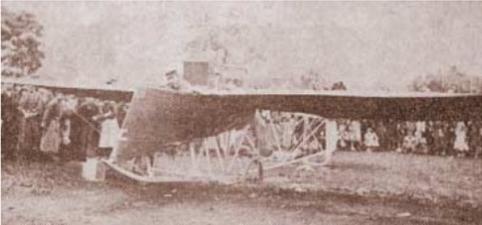
イメージ図の工業高校から見る「百年記念館」や産業界の要望にこたえ、日本工業大学を設立。現在では、中学から大学院まで一貫した工業教育を実現している。

明治40年に、本学の前身である東京工科大学が東京・小石川に開設した。そこから連綿と続く本学園の歩みは、いよいよ今年、学園創立100周年を迎える。創立記念日である6月29日まで後90日。本紙では、本学の歩みを振り返るとともに、100周年記念事業の一端を紹介する。

工業教育体系の完成 平成17年度には、百周年事業の一環として、学園ゆかりの地である神田に専門職大学院と専門学校を新設。これにより、中学生から社会人までを対象とした工業教育体系が完成した。

新しい知の拠点 図書館・情報複合施設「百年記念館」の建設 大学の募金対象事業である図書館・情報複合施設「百年記念館」は、現在の図書館に替わるもの。最新機能を持つ本学の新しい知の拠点である。

目で見る本学園の歩み



明治43年(1910)、東京工科大学の実習工場で組み立てられた「日野式2号機」が国産初の飛行に挑む様子



大正2年(1913)、神田大火後の新築校舎(神田錦町)。設計から施工まで本学園関係者の手によって遂行された



昭和5年(1930)当時の校舎。関東大震災の教訓から耐震性、耐火性を考慮した鉄筋コンクリート造り。校舎の脇に見えるヒマラヤ杉は、宮代キャンパスに移植されている



左: 昭和23年(1948) 駒場に転移した当時の玄関
右: 当時の実習工場



昭和42年(1967)日本工業大学開学時の校舎(本館1号館の西側半分)。まわりには畑が広がっていた



平成8年には(1996)カナダ・アルバート州クロズネスト・バスにカナダ研修所が設置された



「クリーン&グリーンエコキャンパス」活動により緑豊かに整備された現在のキャンパス。平成7年新築の情報工科学験研究棟を望む。

学園のあゆみ

- 明治40(1907)年 東京工科大学 設立認可(現:文京区小日向1丁目13番)
- 明治41(1908)年 東京工科大学 開校
- 明治44(1911)年 神田に移転(現:千代田区神田錦町3丁目24番)
- 昭和6(1931)年 財団法人東京工科大学設立認可。東京工業学校(甲種)を併設
- 昭和10(1935)年 法人名称を財団法人東工学園に改称
- 昭和18(1943)年 東京工科大学を東京高等工科大学(乙種)に改称
- 昭和22(1947)年 学制改革により東京高等工科大学(乙種)を廃止
- 昭和23(1948)年 新学制により東工学園中学校が設立認可
- 昭和26(1951)年 東京工業学校を廃止し、東京工業高等学校設立認可
- 昭和26(1951)年 駒場に移転(目黒区駒場751番地)
- 昭和26(1951)年 私立学校法施行に伴い、財団法人東工学園を学校法人東工学園に改称
- 昭和42(1967)年 日本工業大学開学(埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4丁目1番1号)
- 昭和57(1982)年 大学院工学研究科・修士課程設置
- 昭和62(1987)年 大学院工学研究科・博士課程(後期)設置
- 平成2(1990)年 学校法人東工学園を学校法人日本工業大学に改称
- 平成5(1993)年 留学生別科日本語研修課程設置
- 平成8(1996)年 カナダ研修所設置
- 平成9(1997)年 駒場キャンパス(中学校、高等学校)の校舎を全面改修
- 平成17(2005)年 専門職大学院 設置(千代田区神田神保町2丁目5番)
- 日本工業大学専門学校 設置(同上)

実践的能力育成に感銘

— 華中科技大学 李学長の本学視察記 —

本学との永年にわたる協定校である中国華中科技大学の李培根学長は昨年11月、日本の大学視察のため訪日し、東京大学、名古屋大学、東北大学などの国立大学と私立大学教員を訪問したが、最も印象に残っているのは、本学である。結核し、華中科技大学のホームページに次のような訪問記を掲載した(以下の内容は要約)。邦訳は本学留学生別科劉雲氏による。

今回訪問した大学の中で私が最も印象に残っているのは日本工業大学である。私はかねてから、永年の友人として交流していた同校を訪ねてみたいと思っていた。

訪問前は正直なところ大きな期待は持っていないが、訪問後は、最も良い印象を持つことになった。

機械工学科、電気電子工学科、建築学科、研究センターなどの実験・実習室を見学したが、各学科の実験・実習室はさまざまな工夫がなされていると痛感した。これほどの実験・実習室の充実ぶりは、米国の名門大学でも目にすることは希である。電気電子工学科には、すばらしい超高压実験室が整備され、付属施設である先端材料技術研究センターでは最先端の設備で、最先端の研究が行われている。建築学科では都市空間の気流場や温度場

をシミュレートできる屋外実験設備があり、この設備は一般の大学では想像もつかない規模のものであった。しかし、高度な設備だけ揃えれば学生が育つ訳ではない。同学では、学生の実践的能力の育成を重視した「実学」教育が行われている。理事長の大川先生がいわれた「実学貫徹」という理念が、この大学の前身である東京工科大学創立以来今日までこの大学を貫いている。

同学を見ると、学生のうちに基礎となる技術を学ばせる教育がいかに大切であるかが理解できる。教育方針の1つとして「工務」を利用し機械部品や製品を作らせる実習科目がある。学生をグループで活動させ、協同してものづくりを行なう精神を育成しているのだから驚かされる。

小さな³ロボットコンテスト

3月3日、本学主催(精密工学会・マイクロナノシステム研究専門委員会後援)「第4回マイクロメカニクスコンテスト学生大会・小さな³ロボットのコンテスト」が学生センターで開催された。ロボットは15×15×20mmの超小型サイズ。障害物走破、相撲、作業の3部門に分かれている。参加者は本学を含め4大学から12名(マシン16台)。まだ認知度は低いが、技術的な意見交換も活発に行われ今後の発展が期待される。



相撲マイクロメカニクスの競技

入倉君が映像情報メディア学会で

優秀発表賞受賞



入倉啓輔君

2月24日に横浜の関東学院大学で開催された映像情報メディア学会主催のメデア工学研究会・学生研究発表会において、情報工学科の2年生入倉啓輔君が「音声認識技術を利用した聴覚障害学生のための講義保障システム」で優秀発表賞を受賞した。論文題目は「音声認識技術を利用した聴覚障害学生のための講義保障システム」である。磯野研究室にて、一昨年、昨年と続く受賞であり、強豪大学を抑えての3年連続「学生優秀発表会」において、情報工学科

近事片々

皆さん、こんにちは。充実した学生生活を送っていますか？

私の学生生活、就職先の体験談を交え、皆さんにメッセージを送りたいと思います。

最初に学生生活ですが、一言で言うなら「楽しかった」ですね。しかし、苦勞したという思いも強いです。私は中学ではクラブ活動で全国大会へ、高校では建築の製図コンクールで長野県金賞、大学では資格を計17個まで取得しました。遊びでは北海道一周ツーリングが良かったですね。文武両道を目指して常に人の3倍は努力することを心がけていましたが、大学3年の頃、自分の能力を超える日常に追われ、何をやってもうまくいかない

時期がありました。1週間でも3kg以上体重が減ることも。そんな状況を救ってくれたのが「友達」でした。皆さんも友達は大切にして下さい。また、社会に出てから気がまきましたが、自分で考えて行

工程管理をしています。簡単に言えば、現場監督ですね。施工管理とは設計図通りに建築物を造ることですが、その造り方は現場の裁量であり、品質・安全・工期・原価を管理しながら工事を進め

先輩だより



一生懸命

高橋 博敬
(長野県立長野工業高等学校出身)
建築学科第35期生
北野建設(株) 本社建築部

動を起せるよう指導して下さい。また、設計図で伝えきれないことや不適合を見つけて修正し、施工図で表現し直します。この仕事は建物が出来上がるまでの達成感・充実感が最高です。自分の仕事に形になる喜びですね。

がいろいろと判断した為です。実際想像以上の仕事を頂き、充実した毎日を送っています。早く優秀な技術者になれるよう頑張りたいですね。最後に皆さんにメッセージを送ります。勉強で

も遊びでも自分が夢になれるものを見つけ、一生懸命にやってみて下さい。それが自分の自信になりますし、良い結果もつてきます。結果を残せたらそれまでの行動を振り返ってみましょう。きっと違うことをやっても結果が残せるはずです。

また、今皆さんは工学科で専門分野を学んでいます。工業高校からだと社会にでるまで、かなりの知識を身につけられます。その知識を生かし日本の工業技術者として大きく成長できるように一緒に頑張ってください。

では、皆さんの充実した学生生活、実りのある就職活動ができることを心より応援しています。健康・交通事故には十分注意して下さい。

夏期休暇を利用する英会話カナダ特別セミナー



英会話カナダ特別セミナーとして2単位取得可能。対象は1年〜4年生。期間 8月12日(日)〜9月6日(木)。参加費用 52万9千円(昨年度実績)。説明会 4月11日、18日(いずれも水曜日)の昼休

国際交流 サウジアラビアから訪問



ヒューマノイド・ロボット工房を見学

2月19日、サウジアラビア職業能力開発・訓練センター総裁Dr.Ahmed Al-Yasser氏が、本学を来日訪問した。両氏はJICAのプロジェクトにより来日中であったが、Yasser氏が本学大学院博士前期課程を修了していることなどから今回の訪問となったものである。

7年目を迎えた学生環境推進活動

発足から7年目を迎えた学生環境推進委員会。現在は、活動の一環としてリサイクルショップを開催している。これは、3月に卒業した学生から不要になった家具や電化製品などの生活用品を回収して、新入生に無償で提供するという取り組みだ。学生センターにおいて、4月2日まで開催している。

平成19年2月に千葉商科大学で行われた公開シンポジウム「環境が大学を元気にする Part II」にも、委員会の代表者が参加した。外部・地域との交流も積極的に行っている。

文部科学省教育研究装置・研究設備の補助内定

このたびは文部科学省の平成18年度教育研究装置・研究設備補助金の交付内定通知があった。概要は次のとおりである。

○教育研究装置
・マルチメディア施設1件
・一般教室映像情報提示システム「工事」マルチメディアを利用した講義システムを一般教室に導入すること、スムーズな講義進行が可能となり、学生の理解度を深めるためのものである。

○研究設備
・特別設備3件
・「リンクジェット」超微量スポット「本設備の導入

編集後記

▼新入生諸君入学おめでとう。君達が入学した日本工業大学は、昭和42年に工学部の単科大学として機械工学科・電気工学科・建築学科各入

- 【内容】一般家庭にホームステイしながらUBC(ブリティッシュコロンビア大学)に通学、午前中3時間の授業を受ける。授業はTESOLの資格を持った優秀な教員が担当し、さらに「屋外授業や、カルチュラル・アシスタントと呼ばれる教育スタッフによるアクティビティが組まれている。【単位認定】英語の正規科目
- 【任用】(4月1日付)
◆西村誠介教授(超高電圧研究所) 昭和16年10月3日生まれ。昭和42年3月横浜国立大学大学院工学研究科電気工学専攻修士課程修了。工学博士(東京大学)。前横浜国立大学教授
◆藤縄秀一教授(工業教育研究所) 昭和16年2月18日生まれ。昭和52年3月東京芸大大学院教育学専攻修士課程修了。教育学修士
◆平岡麻里専任教育講師(共通教育学系) 昭和42年10月24日生まれ。平成8年9月ロンドン大学教育学大学院修士課程修了。教育学修士
◆杉本宏昭専任教育講師(共通教育学系) 昭和50年1月27日生まれ。平成16年3月日本大学大学院文学研究科博士後期課程英文学専攻満期退学。修
- 【任用】(4月1日付)
◆関一専任教育講師(共通教育学系) 昭和21年1月1日生まれ。昭和53年3月東京理科大学大学院理学研究科物理学専攻博士課程満期退学。理学修士
◆服部邦彦専任教育講師(共通教育学系) 昭和38年12月9日生まれ。平成3年3月筑波大学大学院博士課程工学研究科修了。工学博士。前東北大学大学院助手
◆田中佳子専任教育講師(学修支援センター) 昭和33年12月14日生まれ。平成4年3月国士館大学大学院政治学研究科政治学専攻修士課程修了。
◆今村博助助手(電気実験センター) 昭和28年12月26日生まれ。昭和61年3月埼玉工業大学工学部電子工学科卒業
◆鈴木史朗事務職員(財務部経理課) 昭和50年11月26日生まれ。平成13年3月本学大学院工学研究科修士課程建築学
- 【任用】(4月1日付)
◆佐藤彰彦講師(共通教育学系) 准教授に昇任
◆総務部総務課長 林祐司
◆教務部入試室課長(教務課長兼務) 栗本収
◆教務部教務課主任 大塚竹郎
【配置換】(4月1日付)
◆京野晴郎学生支援課主任
◆生涯学習センター主事・留学生別科兼務
◆高田昭二生涯学習センター主任・留学生別科兼務
◆源田郁絵総務部総務課員
◆入試室課員
◆貞包利文経理課員(用度・管財課員)
◆鈴木良裕用度・管財課員
◆塩入修就職支援課員(総務部総務課員)
◆吉田有美図書事務課員
- 【環境配慮の観点から再生紙を使用しております。】